



HULFT10 API Gateway 製品紹介資料

株式会社セゾンテクノロジー

目次

■ 製品概要

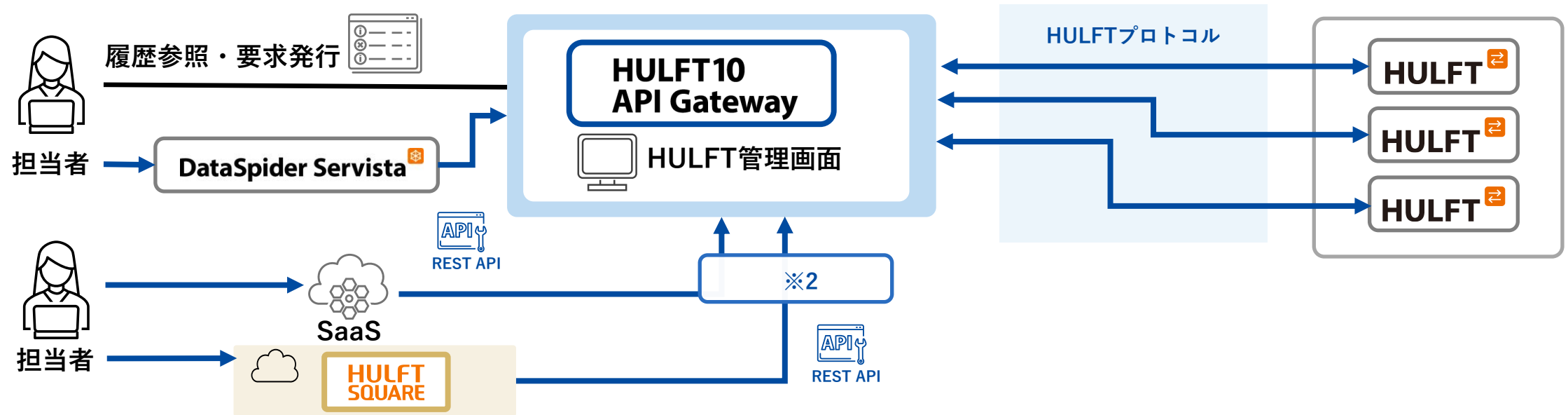
- HULFT10 API Gatewayのご紹介
- ユースケース
- API GatewayとHULFT Manager の違い

■ 機能詳細

- Web画面
- REST API
- 基本機能

製品概要

- Web画面やREST APIにて、複数HULFTの統合管理をするミドルウェアです。
管理画面から複数HULFTの管理情報や集配信履歴を管理します。



外部連携

Web管理画面によるHULFT統合管理

✓ 複数HULFTの設定値設定や確認を集約

操作性

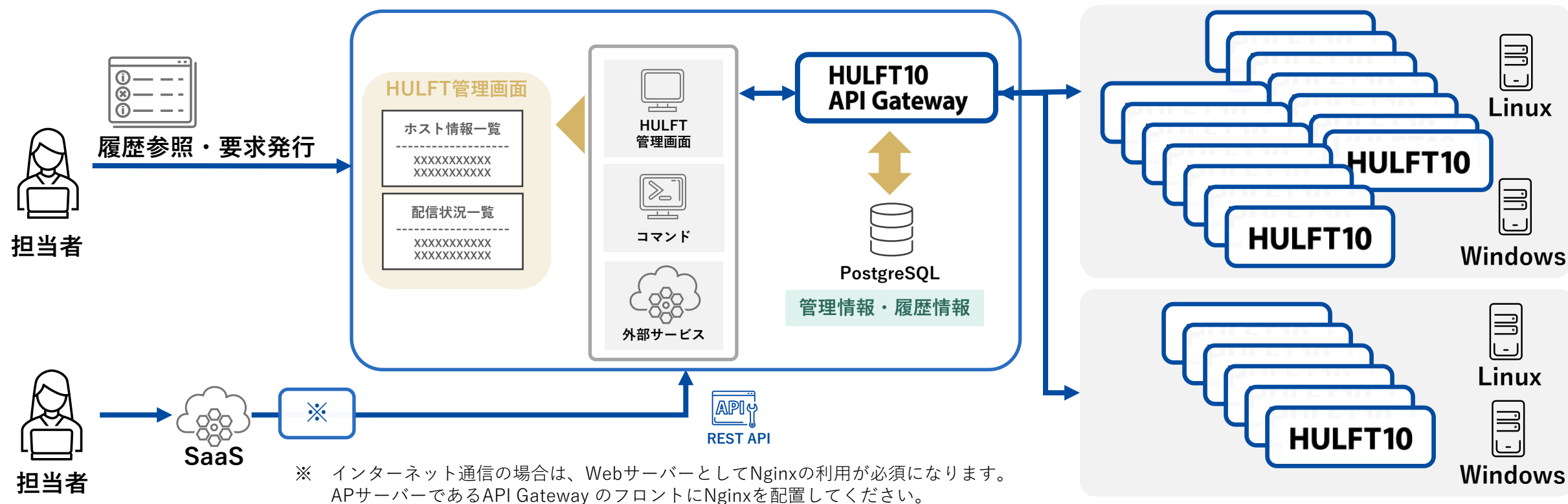
REST API機能

✓ 管理対象HULFTの設定情報を制御

※1 HULFT-HUB L版との互換性はありません。今後変更になる可能性があります。

※2 インターネット通信の場合は、WebサーバーとしてNginxの利用が必須になります。APサーバーであるAPI Gateway のフロントにNginxを配置してください。

■ ブラウザを利用し、HULFTの管理（管理情報の管理、履歴参照、要求発行）が可能



課題

- ✓ 異なる稼働環境のHULFTの個別管理には、それぞれのHULFTでの操作が必要となり運用負担が大きい。
- ✓ HULFTの個別設定までの技術習得には少なからず時間が必要となる。

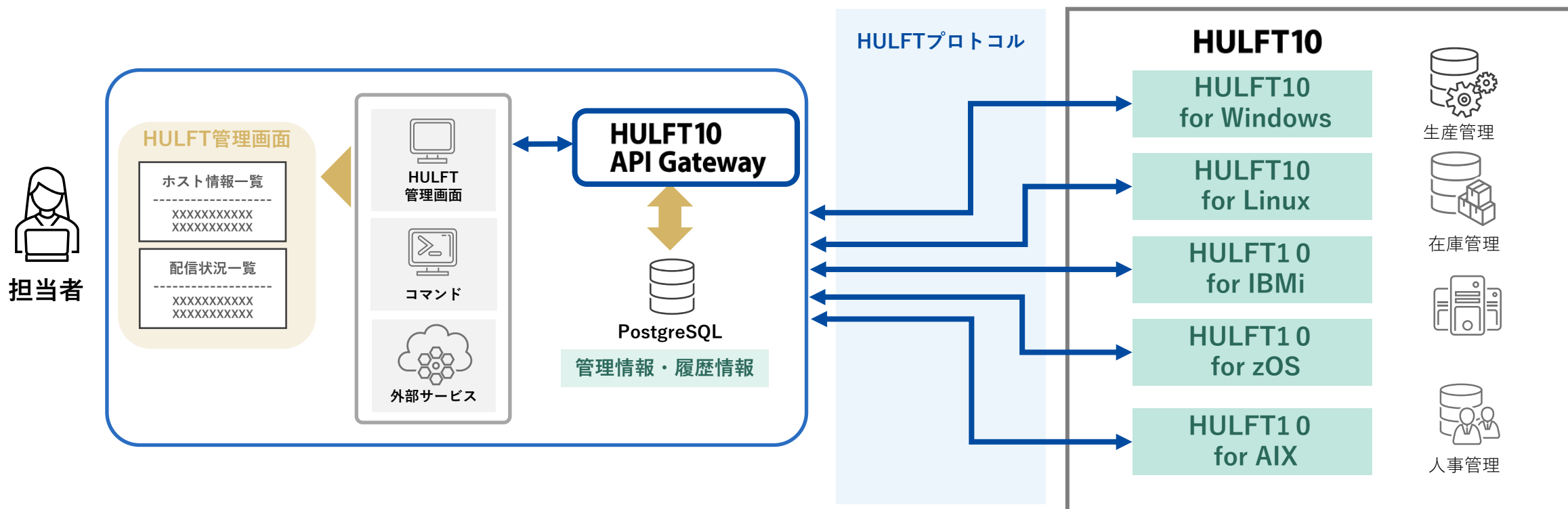
解決

- ✓ Webブラウザ経由で異なる稼働環境の複数HULFTを統合的に管理でき運用負荷が大幅に軽減される。
- ✓ 複数HULFTの設定登録・参照などの統括管理用のAPI提供により一般的な技術者が即時利用できる。

ここが違う！棲み分けポイント！

IT技術者の不足問題

- ✓ データ連携APIが提供されるため、**IT技術者の確保**が容易であり、データ連携処理の構築をスピーディに実現
- ✓ データ源泉側のHULFT技術者はそのままに、管理側ではAPIを用いた統合管理を実現



※上図は、各HULFTとの連携でLANを利用している場合の図になります。インターネット利用の場合は、併せてNginxをご利用ください。

機能詳細

Web画面 (1/2)

■ ホスト管理画面

複数のHULFTからの情報を1画面で管理します。

HULFT10 API Gateway

すべてのホスト

ホスト名で検索 すべて解除 + 登録 接続テスト 削除 リフレッシュ

☐	ホスト	フォルダー	登録日	最終アクセス日	状態	操作
☐	localhost:31000		2024/10/09	2024/10/17	—	<button>接続</button>
☐	localhost:31000		2024/10/15	2024/10/16	—	<button>接続</button>
☐	TEST		2024/10/15	2024/10/17	—	<button>接続</button>
☐	HULFT10.2		2024/10/17	2024/10/17	—	<button>接続</button>
☐	localhost:31013	TEST	2024/10/17	----/--/--	—	<button>接続</button>

1 - 5 of 5 < 1 / 1 > 件数: 100

Point

ブラウザ経由で複数HULFTの設定が可能のため、運用・管理の利便性や**利用範囲の拡大**が可能になります。

Web画面 (2/2)

■ HULFT管理画面

特定のHULFTへ接続し、管理情報や要求発行などをWeb画面で操作が可能です。

ホスト情報：API Gateway管理画面（管理対象HULFTへの接続前）

詳細ホスト情報：API Gateway管理画面（管理対象HULFTへの接続後）

The image displays two side-by-side screenshots of the HULFT10 API Gateway management interface, illustrating the process of editing host information.

Left Screenshot (Host Information): The page title is "HULFT10 API Gateway". The main content area is titled "ホスト情報(localhost)". It shows registration details: "登録日: 2024/10/15 16:59:55" and "最終アクセス日: 2024/12/13 13:30:43". The "Host Name or IP Address" field is set to "localhost". The "Port Number" field is highlighted with a red box and contains the value "31000".

Right Screenshot (Detailed Host Information): The page title is "詳細ホスト情報 新規作成". It shows configuration details for the "API Gateway" (シンガポール). The "Collection Port No." is set to "30000". The "Request Reception Port No." field is highlighted with a red box and contains the value "31000". A red dashed line connects this field to the "Port Number" field in the left screenshot, indicating that the value is shared.

Point

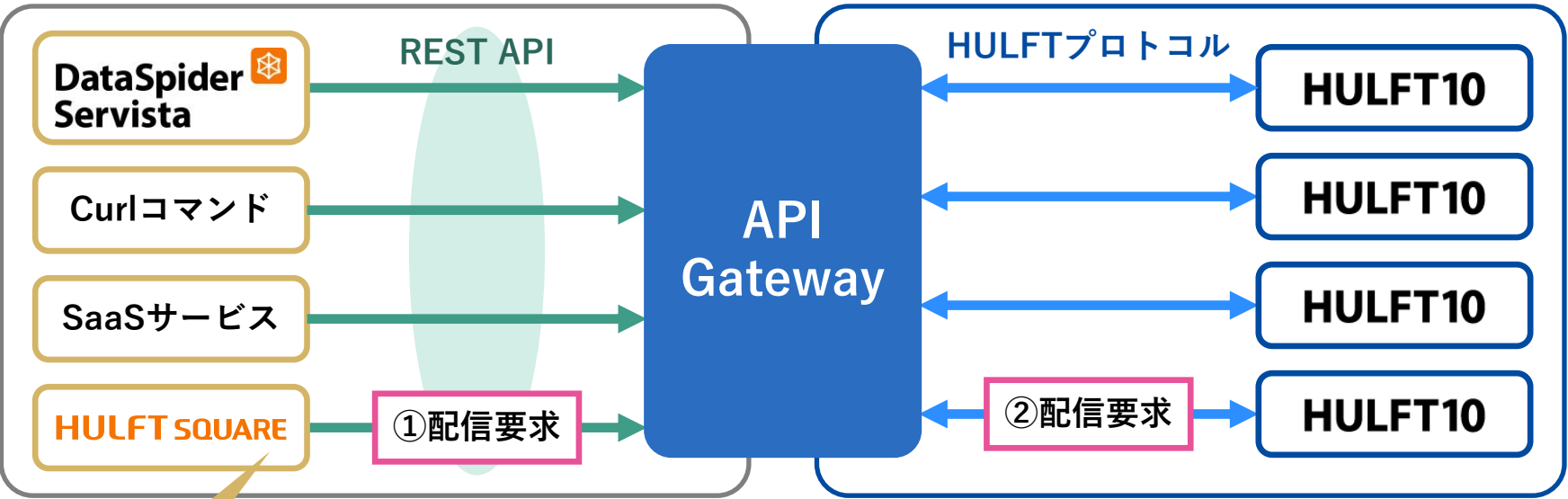
API GatewayとHULFT10を同時に開き見比べながら編集が可能のため、詳細ホスト情報の設定の共有が容易に!!

REST API

単一 / 複数のHULFTをAPIで、管理・操作※することが可能です。

社内システム

社外システム



WebAPI

接続したHULFTの各種管理情報の登録や履歴情報の取得など

詳細は【公式】WebAPI仕様をご参照

HULFT Square による管理

REST APIを使用することでHULFT Square からAPI Gatewayを介して、各ホストに導入されている**HULFTの集中管理**や操作が可能に。これにより、さまざまなシステムやサービスの統合というHULFT Squareの強みを生かした**データ利用の促進**を実現。

Point

HULFT Square やDataSpider、SaaSサービスやCurlコマンドでのHULFTの**管理・運用が容易**になりました。

基本機能：権限管理

各ユーザーには「ユーザーの権限」の権限設定があり、Manager API実行時には各APIが求める権限を実行ユーザが持っているかの確認を行います。

The screenshot shows a user management interface for a user named 'furukawa'. The user's role is 'admin', indicated by an orange circle. The interface includes a 'パスワードを更新' (Update Password) button and a '権限' (Permissions) section. The '権限' section has a dropdown menu with '管理者' (Administrator) selected. A callout box titled 'ユーザーの権限' (User Permissions) shows a list of permissions: '管理者' (Administrator), '管理者' (Administrator), and 'メンバー' (Member). A '削除' (Delete) button is also visible.

ユーザー種別

- **管理者**
メンバーとホスト一覧を管理
- **メンバー**
登録済のホストに接続してHULFTを操作

Point

各ユーザー毎に適切な実行権限を付与することで、**情報漏洩リスクの低減**や、**コンプライアンスの強化**が実現。

基本機能：ラベル

ホストにラベルを設定することが可能です。

転送状況の確認

⇒ 転送状況

ホストの管理

すべてのホスト

ホストを登録

フォルダー

ラベル

国内

海外

TEST

ラベルを編集

転送状況の確認

⇒ 転送状況

ホスト名で検索

すべて解除

ホストの管理

すべてのホスト

ホストを登録

フォルダー

ラベル

国内

海外

TEST

ラベルを編集

HULFT10

API Gateway EC2AMAZ-99UVHD8

Main > 管理情報 > 配信管理情報

配信管理情報

ファイルID、コメント

すべて解除

ファイルID

LOOPBACK

SND01

2件

接続

接続

新規作成

配信要求

Point

接続先のHULFTを色ごとにグルーピングできるため、**業務要件に応じた管理が可能**になりました。

基本機能：転送モニター

登録しているHULFTの転送状況を一つの画面で把握が可能に。

Main
Settings

転送状況の確認

転送状況

ホストの管理

すべてのホスト

ホストを登録

フォルダー

TEST

フォルダーを編集

ラベル

オレンジ

HULFT10 API Gateway

転送状況

すべて

転送中

完了

失敗

表示するフォルダーを選択

24時間以内

転送ID、ファイルID、ホスト名

すべて解除

転送状況を取得しました(3/3ホスト)

取得分を追加表示

種別	転送ID	ファイルID	ステータス	転送元	転送先	データサイズ (bytes)	終了日時
↑ 配信	E1BAAF6D6...	SND01	❗ 失敗 (333450,000802)	localhost	localhost	0/---	2024/10/...
↑ 配信	29B024681...	SND01	❗ 失敗 (333450,000802)	localhost	localhost	0/---	2024/10/...
↑ 配信	747F3CCAA...	SND01	❗ 失敗 (333450,000802)	localhost	localhost	0/---	2024/10/...
↑ 配信	19C817274...	SND01	❗ 失敗 (333450,000802)	localhost	localhost	0/---	2024/10/...

「失敗」した転送のみを表示するなど、転送状況に応じてフィルタリングが可能

Point

トラブルが発生した際にその都度各HULFTを起動せずに状況を確認できるため、情報の追跡が容易になります。

© Saison Technology Co., Ltd. 2024

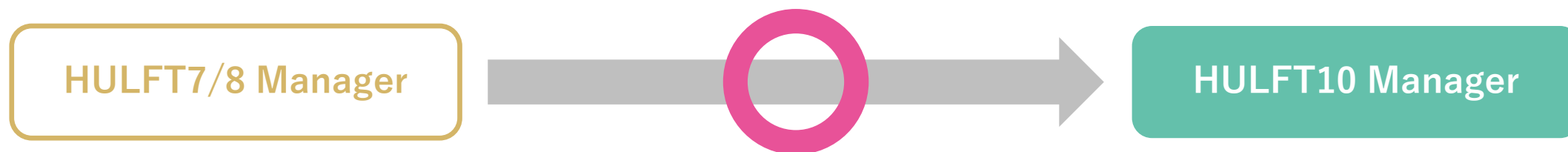
13

移行について

HULFT Managerの各種設定情報の移行は下記のとおりです。

※HULFT Managerバージョンアップ時の移行は可能ですがAPI Gatewayへの移行はできません。

■ 移行可能



■ 移行不可





< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。